

信州大学医学部人工聴覚器学講座で実施される
多機関協力による研究についてお知らせいたします。

2025 年 9 月 26 日

「残存聴力活用型人工内耳植込術 術後成績に関する後ろ向き観察研究」に関する臨床
研究を実施しています。

信州大学医学部倫理委員会の承認を受け、医学部長の許可を得て実施しています。
この研究は、「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」の規定により、
研究内容の情報を公開することが必要とされています。

倫理審査承認番号	6602
研究課題名	残存聴力活用型人工内耳植込術 術後成績に関する後ろ向き観察研究
所属(診療科等)	人工聴覚器学講座
研究責任者(職名)	宇佐美 真一(特任教授)
研究実施期間	データ収集対象期間: 2023 年 8 月 1 日～2028 年 3 月 31 日 研究・解析期間: 倫理委員会承認及び研究機関の長の許可後～2028 年 7 月 31 日
研究の意義、目的	残存聴力活用型人工内耳植込術の術後成績を明らかにすることを目的とした研究で、電極の長さや術後成績の解明に貢献すると考えられます。
対象となる方	2023 年 8 月 1 日以降に本邦の人工内耳手術実施施設にて残存聴力活用型人工内耳植込術を受けられた方
利用する診療記録	性別、手術時年齢、難聴の原因、手術情報、聴力検査、装用閾値、装用下語音検査結果
他機関から試料・情報の提供を受ける方法	郵送により提供を受けます
研究方法	過去の診療記録より上記の内容を収集し、電極の長さや術後成績との関係性の有無について検討します。
研究協力機関名	別添一覧を参照ください。 https://www.otology.gr.jp/about/auditory.php
研究代表者	主任施設の名称: 信州大学 研究責任者: 宇佐美 真一
問い合わせ先	信州大学医学部人工聴覚器学講座(電話: 0263-31-3802)

【既存の診療記録、検査結果】を研究、調査、集計しますので、【新たな診察や検査】の必要はありません。

本研究に関わる情報を取り扱う際には、患者様を直接特定できる個人情報を削除した上で、無関係の番号を付け(匿名化を行い)、患者様の個人情報保護に十分配慮し研究を行います。また、患者様と匿名化番号を結びつける「対応表」は、情報提供元の各施設で厳重に管理し、外部への提供は行いません。また、本研究の目的以外に、研究で得られた情報を使用いたしません。研究成果は今後の医学の発展に役立つように学会や学術雑誌などで発表しますが、その際も患者様を特定できる個人情報を含まないようにいたします。

この研究にご自分の診療記録等を利用することをご了解いただけない場合、またご不明な点については、上記問い合わせ先までご連絡くださいますようお願いいたします。

研究不参加を申し出られた場合でも、なんら不利益を受けることはありません。ただし、参加取り消しの申し出をいただいたとき、すでに研究成果が論文などで公表されていた場合や、試料や情報が匿名化されて個人が全く特定できない場合などには、結果を廃棄できないこともあり、引き続き使わせていただくことがあります。